

定期作況報告

平成24年10月
(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

9月下旬：最高気温は平年より高く、最低気温および平均気温は平年より極めて高かった。降水量は平年より少なかった（平年比52%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比67%）。

10月上旬：最高気温は平年並で、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年並であった（平年比89%）。日照時間は平年並であった（平年比91%）。

10月中旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温および平均気温は平年並であった。降水量は平年より極めて多かった（平年比691%）。日照時間は平年並であった（平年比87%）。

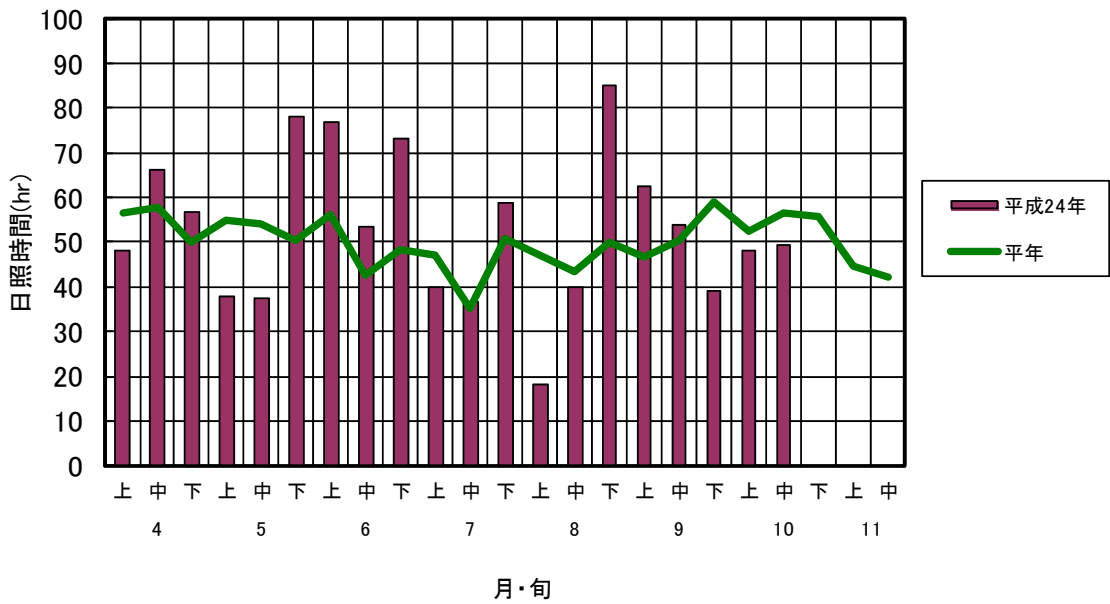
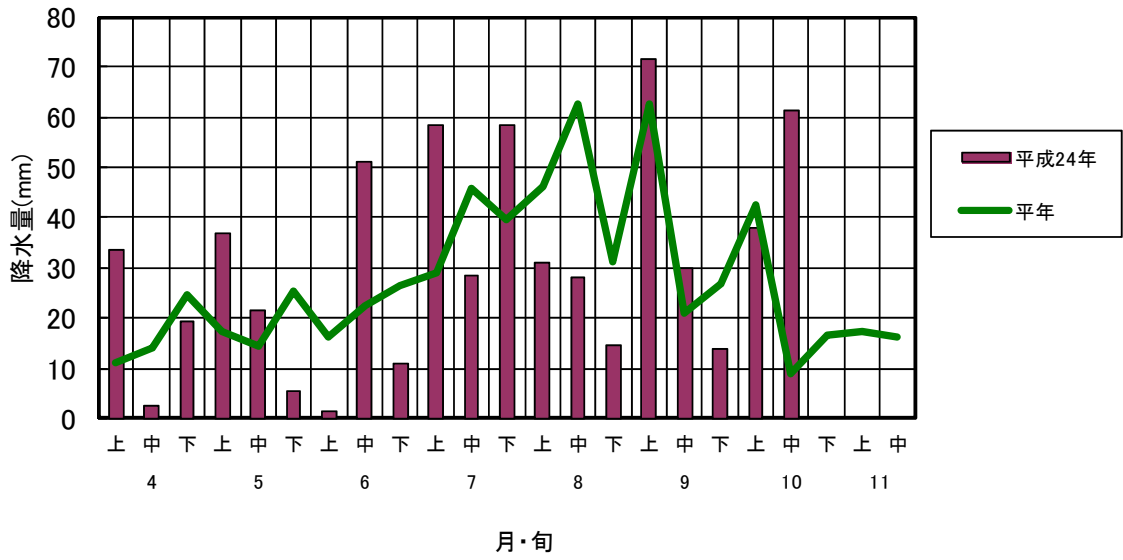
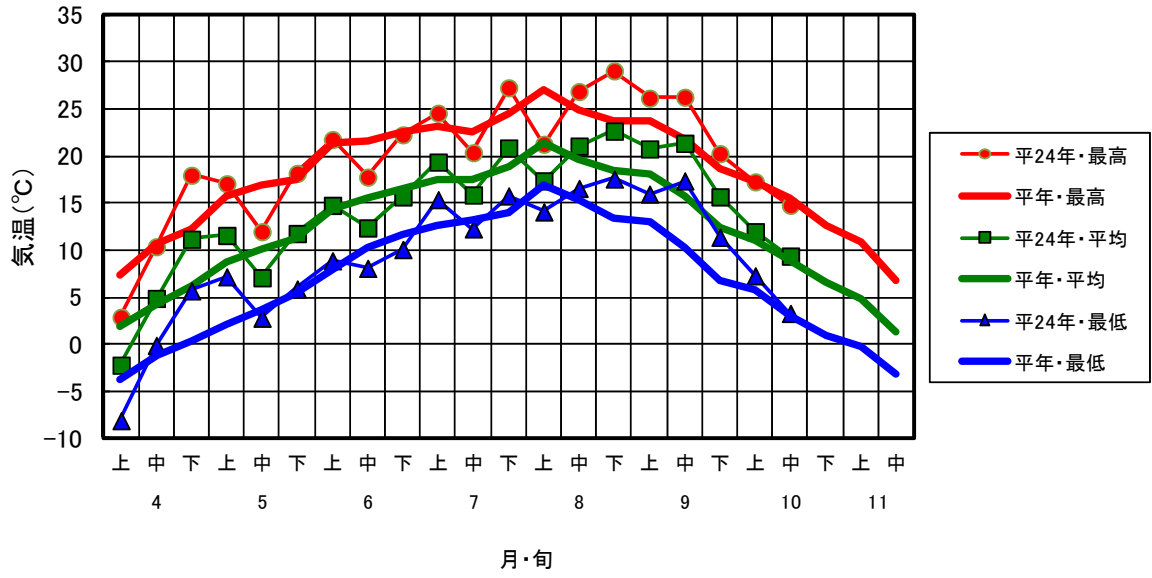
以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は平年と比較して、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並であった。

項目 月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	15.7	12.5	3.2	20.3	18.6	1.7	11.4	6.8	4.6
10月上旬	12.0	11.0	1.0	17.3	17.3	0.0	7.3	5.7	1.6
10月中旬	9.4	8.9	0.5	14.8	15.6	△ 0.8	3.3	3.0	0.3

項目 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	14.0	26.7	△ 12.7	39.3	59.0	△ 19.7
10月上旬	38.0	42.7	△ 4.7	48.0	52.6	△ 4.6
10月中旬	61.5	8.9	52.6	49.3	56.4	△ 7.1

注1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。

2) 平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) とうもろこし(サイレージ用)

作 況：平年並

事 由：収穫期は平年より4日遅い9月27日であった。収穫時の稈長は平年よりやや長く、収穫時の子実の熟度は黄熟初期と平年よりやや遅れ、総体の乾物率は平年並であった。乾物茎葉重は平年並で、乾物雌穂重は平年よりやや重く、乾物総重ならびに推定TDN収量は、平年対比104%といずれも平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
収穫期 (月.日)	9.27	9.23	4
収穫時の熟度	黄熟初期	黄熟初～中期	-
稈長(cm) (9月20日)	288	273	15
生総重(kg/10a)	6913	6610	303
乾物茎葉重(kg/10a)	957	932	25
乾物雌穂重(kg/10a)	1073	1016	57
乾物総重(kg/10a)	2030	1947	83
同上平年比(%)	104	100	4
推定TDN収量(kg/10a)	1469	1406	63
同上平年比(%)	104	100	4
総体の乾物率(%)	29.4	29.6	△0.2
乾雌穂重割合(%)	52.9	52.2	0.7
有効雌穂割合(%)	98.3	100.0	△1.7

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 大豆 作況：平年並

事由：成熟期は平年より4日遅かった。着莢数は平年をやや下回ったが、百粒重は平年を上回り、子実重は平年比100%であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月・日)	9.30	9.26	4
着莢数(個/株) (成熟期)	65.9	71.9	△6.0
一莢内粒数	1.82	1.82	0.00
子実重(kg/10a)	385	386	△1
同上平年比(%)	100	100	0
百粒重(g)	40.9	35.7	5.2
屑粒率(%)	1.8	1.7	0.1

注1) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

3) 小豆 作況：不良

事由：両品種ともに着莢数は平年並であったが、百粒重が平年を大きく下回ったため、子実重は「サホロショウズ」が平年比90%、「エリモショウズ」は同84%であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	61.4	61.6	△0.2	61.7	61.7	0.0
一莢内粒数	6.16	5.70	0.46	6.34	6.50	△0.16
子実重(kg/10a)	371	414	△43	392	465	△73
同上平年比(%)	90	100	△10	84	100	△16
百粒重(g)	13.5	15.2	△1.7	12.8	14.7	△1.9
屑粒率(%)	1.8	2.8	△1.0	1.4	2.4	△1.0

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、20年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

4) 菜豆

作況：平年並

事由：着莢数及び百粒重は概ね平年並であり、子実重は平年比 97%であった。
以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	20.7	20.3	0.4
一莢内粒数	3.35	3.12	0.23
子実重(kg/10a)	339	351	△12
同上平年比(%)	97	100	△3
百粒重(g)	72.1	73.7	△1.6
屑粒率(%)	1.5	5.3	△3.8

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

5) ばれいしょ

作況：やや良

事由：「男爵薯」の枯ちょう期は平年より著しく遅かった。上いも数が平年より多く、上いも平均重も平年をやや上回ったことから、上いも重は平年をかなり上回った。でん粉価も平年をやや上回った。「コナフブキ」は10月20日現在で未枯ちょうであり、上いも平均重とでん粉価は平年を上回っているが、上いも数が少ないことから、上いも重、でん粉重とも平年並である。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月.日)	10.7	9.2	35	未達	10.5	—
上いも数(個/株)	11.0	9.7	1.3	7.8	9.9	△ 2.1
上いも平均重(g)	110	103	7	140	113	27
上いも重(kg/10a)	5391	4387	1004	4862	4939	△ 77
同上平年比(%)	123	100	23	98	100	△ 2
でん粉価(%)	15.4	14.8	0.6	22.4	21.5	0.9
でん粉重(kg/10a)	—	—	—	1040	1014	26
同上平年比(%)	—	—	—	103	100	3

注) 平年値は前7か年中、平成17(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均

6) てんさい

作 況：やや良

事 由：収穫は平年より1日早い10月18日に行った。茎葉重は平年をやや下回った。気温が9月下旬まで極めて高く、10月上旬も最低気温が高い傾向にあったため、根中糖分は前報から差が開き平年より1.5ポイント下回った。しかし、根重が平年をかなり上回っているため、糖量は平年をやや上回った。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	移植						直播注2)		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
茎葉重 (kg/10a) (10月20日)	5123	5311	△188	5528	5695	△167	4802	5656	△854
根重 (kg/10a) (10月20日)	8092	6913	1179	8164	7236	928	6484	5728	756
根中糖分 (%) (10月20日)	15.75	17.36	△1.61	16.08	17.66	△1.58	15.83	17.36	△1.53
糖量 (kg/10a) (10月20日)	1274	1199	75	1313	1275	38	1026	992	34

注1) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 直播「モノホマレ」は欠株が多いため参考成績。

7) 牧草(チモシー)

作況:良

事由:3番草の収穫は平年より3日早い10月2日に行った。3番草の草丈は平年並であったが、乾物収量は平年対比105%とやや多かった。1~3番草の合計乾物収量は平年対比112%と平年を上回った。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
刈取日(月.日)	3番草	10.2	10.5	△3
病害罹病程度	3番草	2.3	4.2	△1.9
草丈(cm)	3番草	46	46	0
生草収量(kg/10a)	3番草	1001	559	442
	1~3番草合計	4975	4150	825
乾物率(%)	3番草	16.9	29.9	△13.0
乾物収量(kg/10a)	3番草	169	161	8
	1~3番草合計	1067	953	114
同上平年比(%)	3番草	105	100	5
	1~3番草合計	112	100	12

注1) 平年値は前7か年中、平成18年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 病害罹病程度は、1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。